

6年生『総合的な学習』オリエンテーション

【『総合的な学習』とは】

Q：どのような形で学習するのですか？

A：

今年は、年間で約70時間を使って、広場などの時間を使って学年全体が小グループに分かれ、テーマを決めて活動するのです。必要ならば、学校の外に出てフィールドワークにいくことがあるかもしれませんね。

『総合的な学習』とは……

- 1 教科（国語・算数…）というわく組にとらわれない学習
- 2 1組・2組というわく組にとらわれない学習
- 3 校内という学習場所のわく組にとらわれない学習
- 4 人やものとの触れ合い、体験や経験を取り入れた学習

Q：どのような学習をするのですか？

A：

『総合的な学習』は、学び方自体を学習するもので、決められた学習内容がありません。

今、社会の中で課題になっていることから、学びたいことを自分たちで考え、どのように学んでいったらよいのかを考えるのです。

『総合的な学習』の進め方

- 1 学習したい内容を考えていく学習＜課題設定＞
- 2 学習の方法を考え、計画していく学習＜学習計画＞
- 3 計画をもとに活動を行う学習＜交流・体験＞
- 4 学習をまとめ、伝え広めていく学習＜まとめ・発信＞
- 5 活動を自分たちで評価し、新たな課題を発見する学習＜自己評価＞

Q：どのような力が必要な（力がつく）学習ですか？

A：

全員が共通の知識や技能を身につけるというものではないので、学習者（みなさん一人一人のことです）の姿勢によってまちまちです。経験や体験活動を重視し、人や物と接する中で考え対応していくので、学んで得た知識より、学ぶ過程が大切にされる学習なのです。

『総合的な学習』に必要な力

- 1 自分自身で課題を見つける力が必要な学習
- 2 自分自身の判断力が必要な学習
- 3 自分自身の決定力が必要な学習
- 4 自分自身の行動力が必要な学習
- 5 表現する力やまとめる力が必要な学習

【『総合的な学習』のテーマ】

Q：具体的に今年の6年生のテーマは何ですか？

A：

6年生では、「**薪**」について考えます。

私たちの生活している場所の歴史や環境についてみんなで考えていきたいと思っています。

薪は歴史的には、古墳時代から人々が生活をし、さまざまな文化を積極的に取り入れてきた地域です。また、環境的には、甘南備山を代表として植物や動物の種類を観察することが出来る恵まれた地域です。

「総合的な学習」で「薪」を学習することを通して、これからの自分たちがどのように地域とかかわり、また、どのような生活をしていきたいのかを考えていきたいと思っています。

具体的な内容の例として・・・

（1）歴史的な視点から

- ・堀切谷古墳・一休寺（酬恩庵）・墓の角池・手原川・棚倉彦神社
- ・甘南備寺・一休・一休寺納豆・薪能・茶の湯・墨絵・むしろ・・・

（2）環境的な視点から

- ・植物・農作物・鳥・昆虫・水・び生物・魚・・・

【学習の予定（1学期）】

- ①オリエンテーション（『総合的な学習』とは・テーマなど）
- ②個人のテーマについて考える。
- ③テーマについて先生などに相談し、個人のテーマを決定する。
- ④テーマを出し合いグループづくりをする。
- ⑤グループでこれからの計画書をつくる。
- ⑥調べる活動をする。

【この時間中にすること】

自分なりにイメージを持って、どのようなことができそうか考えてきたことをまとめて記入する。

記入後、先生に見せて相談する。